

芸術の秋

～美術館に行ってみよう！～

～美術館の楽しみ方はいろいろ～

美術館を外からも楽しむ

美術館は建物自体が芸術的でお洒落なところも多いですよ。有名な建築家が設計を手掛けていたり、映画に使われた建物もあります。入口付近や敷地内の意外な場所にアート作品が設置されていたり庭園が自慢の美術館も。展示作品以外も楽しめたら美術館上級者かも？

企画展だけじゃもったいない！

美術館の展示には大きく分けて「常設展」と「企画展」があります。常設展はその美術館の所蔵作品（コレクション）の展示、企画展はテーマに沿って期間限定で行う展示のことです。企画展を目当てに出掛ける人が多いと思いますが、常設展にも世界に誇れる名画や、門外不出の作品があったりします。いつでもゆっくり鑑賞でき、観覧料金が安いのが魅力です。

美術館でくつろぐ

美術館には、レストランやカフェが併設されているところも多いです。レストランでは特別展にちなんだ特別メニューがあったり、カフェで四季折々の景色を眺めながらゆっくりとコーヒーが飲めたり、椅子が心地良く、つい長居したくなる休憩スペースがあるのも楽しみの一つです。

図書館や本に関する豆知識

参考図書について

カメラアステージ図書館のカウンターと多目的室の間には、『参考図書』のコーナーがあることをご存知ですか。図書館によく来られる方でも、このコーナーをじっくり見たことのある方は、あまり多くないかもしれません。『参考図書』とは調査、研究、学習などの際に参考とする本のことです。地図や地図帳、百科事典や辞書なども、参考図書に分類されます。これらは全部読み通すのではなく、必要に応じ参照して使います。あらゆる事柄が整理され、ある事柄とほかの事柄の関係性を示してあるなど比較対照ができるよう作られています。カメラアステージ図書館にも興味をそえられるおもしろい資料が置いてありますよ。館内閲覧のものがほとんどなので、館内でじっくりご覧ください。

参照：『図書館のすべてがわかる本 4』 秋田 喜代美 監修 岩崎書店 K010/t

福岡県内にはいくつもの美術館があり、おもしろそうな企画展が行われていたり、建物自体がアートになっていたり、各館それぞれの特色があります。この秋はぜひ美術館を訪れて“芸術の秋”を満喫しませんか。



～公開期間は必ずチェックして！～

ご存じですか？国宝の秘宝

日本では、国宝や重要文化財に指定された美術品は、公開の期間や回数に制限があります（原則として年間2回以内、公開日数は延べ60日以内、退色や劣化の可能性があるものは30日以内など）。会期の長い展覧会で、国宝や重要文化財の公開期間が限定されているのはこのためです。お目当ての作品は事前に確認して鑑賞に出かけましょう！

スタッフおすすめの本



『60分でわかる！
年収の壁超入門』
土屋 裕昭 著
佐藤 敦規 著
技術評論社 345.3/4

(山田)

ニュースでよく耳にする『年収の壁』という言葉ですが、実は働き方だけでなく、年金や医療、介護保険、さらには贈与や家計など、暮らしの幅広い場面にかかわるとても身近なテーマです。制度の仕組みは複雑に見えますが、本書では幾つもある壁の違いや影響を、図解や具体例を交えながら、優しく整理しています。自分にはどの壁が関係するのか、壁を超えると何が变わるのかを短時間で掴むことができます。年代や働き方を問わず、これからの暮らしを考えるきっかけとして手に取りやすい一冊です。



美術館は敷居が高い？

「美術館なんて何年も行っていない」という方も多いかもしれません。しかし日本中にはたくさんの美術館があり、そのコンセプトも様々です。誰でも気軽に立ち寄り、自由に時間を過ごすことが出来ます。休日のお出かけ先の候補にしたり、旅の目的の一つにするなど、是非美術館に親しんでください。

なかなか美術館へ

行けない人へ

「美術館は遠いし、なかなか行けない」という方にオススメしたいのが、図書館の芸術書のコーナーです。図書館には画集や写真集、解説書など美術関連の資料もたくさんあります。館内の椅子に座ってゆっくり作品を楽しむのもよし、自宅でリラクックスしてじっくり読むのもよし。今年の秋は芸術の秋を堪能しませんか？



スタッフよもやま話

美術館には、好きな企画展があると友人と休みを合わせて行くのですが、常設展まで見学しないまま帰ってしまったことが度々あり、今回の図書館だよりの特集を作りながら「もったいないことをしていたんだな～」と感じました。特設展だけ見て帰ってきた日も、美術館内のカフェでランチやスイーツの時間はちゃんと取っているのですが、料理の美味しさだけでなく、眺望の良さに気分を上げて、贅沢な気分を満喫しています。また、記念品の販売コーナーでは、そこでしか入手できないものがあるため「なにが記念に…」と真剣に選ぶのも楽しみの一つです。全国各地に、一度は行ってみたいと思っている素敵な美術館がたくさんあります。今回、あらためて美術館の楽しみ方のポイントをおさらいしたので、いつか足を運んだ時、これまでよりもっと有意義な時間を過ごせるのではないかと期待に胸を膨らませています。

(上田)

参考資料



『企画展だけじゃもったいない日本の美術館めぐり』
浦島 茂世 著
G. B. 706.9/4



『美術館へ行こう
ときどきおやつ』
伊藤 まさこ 著
新潮社 706.9/4



『五感でわかる
名画鑑賞術』
西岡 大彦 著
筑摩書房
B720.7/2